

一宮西高 同窓会報

第23号

2008年7月7日発行

発行：一宮西高校同窓会事務局

一宮市萩原町串作字河田1番地 TEL 491-0376

TEL (0586) 68-1191 FAX (0586) 69-0196

E-mail dosokai@ichinomiyishi-h.aichi-c.ed.jp



思い出の野球部

同窓会副会長 川出孝行

盛夏の候 同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことお喜び申し上げます。日ごろは、西高同窓会の運営にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

早いもので、西高を卒業して三十五年が過ぎてしましましたが、当時のことは、今でもしつかりと記憶に残っています。私は、小さい頃から野球が大好きで、中学校でも野球部に所属していました。西高を受験しようとした時、野球部がないということ

とは知っていましたので、入学してから野球をやりたい仲間を作れば良いと考えていました。しかし、それは、そんなに甘いものではありませんでした。まず始めに同級生に呼びかけをして、さらに中学時代の先輩方にも相談に乗っていただきました。「野球をしたい」「野球部を作つてほしい」と活動をしてみたものの、それだけでは認めてもらえない、「なつかか難しいと思うよ」といわれてしまいました。

「神風?」が吹いてきました。昭和四八年から学校群制度の導入が決まっており、そうなれば、クラブ活動を選択する際にも、一宮高校との差を最小限にするべきではないかという意見も出されました。それが影響したのは分かりませんが、私が三年生の七月に野球部が設立されました。今更ではあります、ですが、当時の杉浦校長先生を始めとする諸先生方、先輩、同級生、後輩の皆さん、本当にありがとうございました。また、野球部の発足後も、一緒に設立活動をしていた塙本監督の下、夏の甲子

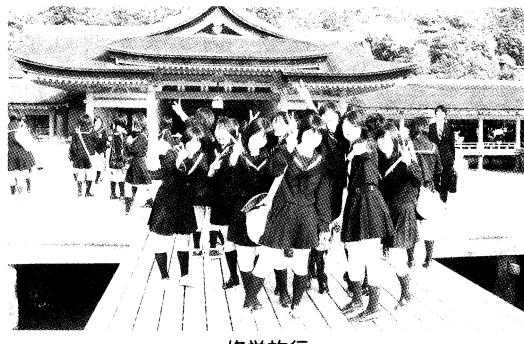


今年の東海総体に出場した陸上部のメンバーです

を作りより野球同好会という名の下でやつたほうが少しある簡単じゃないか?」という声が上がりました。ところが活動し始めると、同好会組織自体が生徒会規約で認められていないという事実を知り、断念せざるを得ない状況になりました。とても悔しい気持ちでした。

そういうするうちに、一年はあつという間に過ぎ、一緒に活動していた十数名の同級生も五名ほどになってしまった。心細くなつてしましたが、新一年生も加わり、野球をするというよりは、どうしたら生徒会や職員会議で認めてもらえるのかをじっくり話し合つてきました。そして、次のような内容の原案を提出してみました。まず、クラブ活動費の上限を他のクラブの最高額よりも超えないことや、グラウンド内にピッチャーマウンドを作らないなどの条件を付けました。また、運動場は、公立高校の中でも二番目の広さがあるので、野球をするには十分な広さがあるということを伝えました。職員会議で検討していただいたのですが、結果は、時期尚早ということで認めてもらうことはできませんでした。

半ば諦めかけていたところ、



修学旅行



体育祭

園愛知大会で二度のベスト8に輝くなど、その活躍ぶりを大変うれしく思っています。さて、毎年お願いばかりで大変恐縮とは存しますが、昨年度より、会費を一律二千円、協力金として一口千円を会員の皆様にお願いします。お預いれたがたがたご挨拶とさせていただきます。

いいたすことになりました。大変なご負担をおかけしますが、よろしくお願いいたします。最後になりましたが、皆様のご多幸とご健勝を心よりお祈り申し上げまして、お願いたがたご挨拶とさせていただきます。

平成20年度 同窓会総会のお知らせ

(全日制第3回生・第23回生学年同窓会
同時開催)

日 時 8月9日(土)午後5時より
場 所 一宮スポーツ文化センター
会 費 5,000円(学生は3,000円)

同封のハガキで出欠をお知らせください。
※来年度は、第4回生・第24回生(昭和45年卒・平成2年卒)の学年同窓会を計画しております。

品格ある学校を目指して

校長 笠井 紀由中

本年四月に本校に着任いたしました。もとより浅学非才の身でございますが、本校教育の充実・発展に全力を尽くす覚悟であります。同窓会員の皆様におかれましては、なお一層の御支援・御協力を賜りますようよろしくお願ひ申し上げます。

子大学の藤原正彦先生が、「国家の品格」という本を上梓され、バストセラーになりました。この本が書かれて以来、「～の品格」という言葉が流行語になつた感があります。「品格」という言葉を辞書で調べると、「品位、氣品」とあります。抽象的で分かりにくいですが、「品格」に対する言葉は、「下品」とか「卑怯」とかいう言葉ですので、品格とは、「他人が不快に思つて顔をしかめるような行為をしない、人を貶め るような卑劣な行為をしない、気高く、誇り高く、自信に満ちてい る状態」というように定義づけることができます。

うか。藤原先生は、品格ある国家の指標として次の四点をあげています。「独立不羈」、「高い道徳」、「美の存在」、「天才の輩出」これらを学校に当てはめて、「学校の品格」とは何かを私なりに考えてみました。

一つは、学校が「独自性をもつてていること」です。例えば、本校では47分授業8分放課という学校時を設定しています。今でこそ同様のシステムを採用している学校の数は増えてきていますが、県内では本校が他校に先駆けてこのシステムを導入したのではないかと

思います。学習指導だけでなく、学校行事、部活動などの分野で、本校だからこそできる教育活動がたくさんあります。それらを発展させたいと思つています。
もう一つは、「美的の存在」です。外面向的な美と内面向的な美があると思いますが、外面向的には、学ぶ環境を整えることです。清掃の徹底や身だしなみを整えさせることで、いうことは最初になすべきことです。あると思います。校舎の中が汚かったり、生徒がだらしない格好をしているようでは、品格ある学校とは言えません。内面向的な美という観点からは、「高い道徳性」をもつこと、つまり生徒教師がそれぞれの立場をきちんと理解し、行動できることです。生徒がなすべき基本となることは、ルールとマナーを守ることです。校則を守ることは当然ですが、状況に応じた「適切な言葉遣い」と礼儀」も西高生としての品位を保つ大事な要素であると思います。
最後の一つは、「世に名を残す卒業生を多く出すこと」でしょ
う。生徒一人一人の得意とする分野の能力をさらに磨き、後に続く後輩が誇りに思う傑出した人物を数多く世に送り出したいと思っています。今在校している生徒の中から西高といえばの人というような西高卒業生の代名詞になる人物が出ることを期待しています。
以上、「学校の品位・品格」について私見を述べてきました。最後に作家の田辺聖子さんのエッセイの中に「人間の気品」について触れた言葉があつたので、その一部を紹介したいと思います。

昨年度の総会報告

東京支部同窓会

38 回生 大津 英紅

なタイプの品位があると思う。いつもよく考え続ける人の人生観から出る品。生まれ育ちからくる品。一つの道をきわめたことから出る品。このうちどれか一つであります。
一宮西高校として品位ある生徒を育てていきたいと思つております。
昨年度の総会報告

今年度の総会に、是非皆様お説明いただきますようお願い申し上げます。

また、担当学年にかかわらず、クラブ会や部活動のOB会の場としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いと考えております。

また、相当学年にかわらず、クラス会や部活動のOBA会の場としても同窓会総会を大いに活用していただけたら幸いと考えております。今年度の総会に、是非皆様お合わせの上、気軽に参加していただきますようお願い申し上げます。

東京支部同窓会

38回生 大津 英紀

窓会の繁栄に繋がると実感しています。そして、今年11月に行われた東京支部同窓会は、間違いなく昨年を上回る盛大な同窓会になることでしょう。同窓会に参加することで、久しく会つていなかつた先生・同期の友人たちと記憶をたどり、高校時代を懐かしく思うとともに、在学中には関わることのできなかつた先輩から様々な価値観や助言を得ることで、自分を見つめ直し、充実した時間を過ごすことができると思います。

同窓会のことを振り返った今では、世代を超えて協力し合う楽しさと、年代が離れていても積極的に協力してくださつた先輩たちの優しさに浸ることができ、幹事を引き受けた本当に良かったと思っています。

最後になりましたが、参加者の皆さん！お忙しい中、参加していただきありがとうございました。今年の同窓会も皆さん的心に残るような有意義な同窓会にしていきます。また、まだ参加されたことのない皆さんもぜひ参加していただきたいと思います。

思い出
この年生の先生からのメッセージ

伊藤
一

私は、平成四年に一宮西高校に赴任しました。以来十六年間、本当に充実した毎日を過ごさせていたときました。これも、素晴らしい生徒や同窓会の皆さん、数多くの先生方と出会い、教育に携わられた御蔭と感謝しております。本当にありがとうございました。西高に着任して間もない頃、ベテランの先生から「どうしたん

だ」と声をかけられたことがあります。頬がこわばっていたのでした。頬がこわばっていたのでした。私は、明るく、前向きな生徒達が多いことに驚き、戸惑つていました。このことは、今転勤してさらによく感じています。

そんな私が西高の授業や部活動、学校行事が「西高生」を育ててることに気付き、教育活動で邁進できたのも、多くの卒業生の皆さんや先生方の御蔭です。

西高の思い出はたくさんあります。ですが、その一つに部活動があります。バスケット部の顧問として、部活動の指導で、指揮していただける生徒集団に成長してくれました。信頼関係が強まるといつしか私は、年々部員数が増え、夏合宿ができるようになりました。そこで県大会に連れて行ってくれる生徒集団に成長してくれました。信頼関係が強まると充実した練習ができるようになります。人としても頼りやすく、信頼できる生徒がたくさん育ってくれる。皆さんに教えていたときました。その皆さんに何よりも私の誇りです。

クラス担任としても多くの感動と喜びがありました。進路で悩み面談でも何度も涙を流した生徒センターテストを控えて、業後に毎日教科指導をした生徒、日本史の添削指導を何十回とした生徒、志望校合格を目指し、自習室でともに励まし合って遅くまで学習していた生徒。皆それぞれの目標を実現した時の喜びの笑顔は、感動的であり、今でも鮮やかに思い出すことができます。まだまだ、生徒達の顔が懐かしく思い浮かぶ出来事がありますが、皆さん、それぞれの素晴らしい人生を歩んでくれることを心より祈っています。

私のよき思い出は、労を惜しまない多くの先生方とそれに応える生徒の皆さんのが向ぎな姿勢の御

母校に赴任して

河合
正昌

蔭です。西高に受け継がれている
校風や文化は、卒業生の皆さんのが
築かれ发展させてこられたもので
す。それを受け継ぐ在校生の皆さ
んは、西高が西高たる所以は何か
をぜひ学びとつて、多くの感動と
喜びを味わってください。西高一
らではの数多くの物語があり、あ
なたはその主人公なのです。

最後に、私は、西高で教員生活
を過ごせたことを大変幸せに思つ
ています。同窓会の皆様、お世話
になりました先生方、保護者の皆
様ありがとうございました。今後も
の、同窓会と一宮西高校のますま
すの御活躍と御发展をお祈
り申し上げます。



星の放送がありません。私たちのころは放送部の放送がありました。ビートルズのレディマドンナの曲とともに始まりました。毎日だつたので今でもそのときの雰囲気を覚えています。今は学校行事のときだけの活動のようです。

剣道部はあるけど柔道部は休部中です。剣道部の顧問になつたので武道場に行きました。剣道部は昔のように練習に励んでいます。剣道部だった友人の顔が浮かびます。高校生のときのままの顔です。記憶の中の友人は年をとつてしません。いつも隣で練習していた柔道部の姿はありませんでした。

修学旅行は今も広島方面です。この原稿を書いている5月下旬、2年生は修学旅行に行つています。行き先を聞いてちょっととびっくりしました。旅行先が広島方面に変わつたのは私たちのときです。急な変更だつたようで、いい季節には行けず、寒い冬にコートを着て行きました。

まだ赴任して2ヶ月たらずです。これからも新しい発見があると思いますが、変わつていらないことで最も大きなことは、西高が今も優秀な生徒の集まる学校であります。続いていることです。これまでに西高に関わつてこられた方々のおかげだと思います。

母校に対する責任の重さを感じつつも、後輩でもある生徒の成長を楽しみにしています。少しでも生徒の力になれよう精一杯やつていきたいと思っています。

西高&INTERNET

1 西高OBのホームページ

9回生の鷲津秀樹さん主宰。西高の学校行事、部活動などの話題や、OB同士が情報交換できる掲示板など盛りだくさんで楽しい内容です。ぜひ、ご覧ください。
URL: <http://www.ops.dti.ne.jp/~iwh/>

2 西高メーリングリスト

28回生の牧さん主宰。西高の話題を中心に、さまざまな情報を交換しています。申し込みは、牧さんまで。

E-mail nishi-koh-owner@yahoo-groups.jp

3 同窓会事務局へのお便り・出欠のご返事も E-mailでどうぞ

E-mail: desokai@ichinomiyapishi-h.gichi-c.ed.jp

西高ホームページ

<http://www.ichinomiyanishi-hachioji.com/>

<http://www.jc>

<http://www.kenkyuusho-nich.ac.jp/>

◎同窓会報原稿の募集

同窓会事務局では、会報に掲載する原稿を募集しています。
卒業後さまざまな分野でご活躍の皆さんのお近況をお知らせください。経営している会社や商店のこと、趣味や旅行のこと、ご家族のこと、何でも結構です。また、同窓会の活動や会報についてのご意見、ご要望をお待ちしています。同窓会事務局あて郵便かFAX、またはE-mailでお送りください。

くわしくは、事務局までお問い合わせください。

同窓会費納入及び協力金のお礼

学園だより

昨年冬の 同窓会活動報告

一、同窓会総会の開催
八月十一日（土）一宮スポーツ文化センターで開催。旧・現職員、一般会員合わせて百十四名の参加をいただきました。

三、同窓会郵送料カンパの実施
今年度も別記のとおり実施いたしますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

十二月十七日(土)新宿にて開催
学校側からは、平澤稔先生・入
野勝年先生が出席され、合わせ
て三二不口の会「口づら」も開催さ
れた。

五、同窓会入会式および卒業記念品贈呈式
二月二十八日（木）に実施されました。第四十二回生三百十八名が同窓会に入会し、一般会員総数は一五、八三〇名になりました。また、卒業生には、卒業記念品として、証書筒を贈呈しました。

平成二十年度
高校総合体育大会の結果
《尾張支部予選会の結果》
△競技別
女子総合 優勝 (2年連続)
男子総合 第三位

団体ベスト8相当以上及び、県
大会出場について掲載
ゴシック体は県大会出場

【男子サッカー】	県大会出場
【女子バスケットボール】	県大会出場
【男子バドミントン】	県大会出場
【女子バドミントン】	県大会出場
【男子バドミントン】	県大会出場
【新体操】	県大会出場
【新体操】	個人3名県大会出場
【ソフトボール】	県大会出場
【ラグビー】	県大会出場
【女子ハンドボール】	県大会出場
【男子ハンドボール】	県大会出場
【陸上競技】	『ゴシック体は東海大会出場
【東海大会の結果】	
男子	
第1位	400m 平野達也
第2位	1600mR 八木・鈴木・大林・平野
第3位	400mH 黒田紗希
第4位	5000mW 伊藤恭道
第5位	100m 蜂矢志穂
第6位	3000mR 大津苑美希
第7位	3000mW 浅井美貴
女子	
第1位	400mH 服部・若山・内藤・黒田
第2位	3000mW 男子
第3位	3000mR 男子
第4位	3000mW 1600mR 男子
第5位	400mH 3000mW 男子
第6位	400mR 3000mW 男子
【新体操】	1600mR 3000mW 男子
团体	3000mW 1600mR 3000mW 男子
【陸上競技】	「ゴシック体は東海大会出場
【東海大会の結果】	

主	英	数	数	教	校	◇	転	バ	準決勝進出	八木・鈴木・大林・平野
任	語	学	学	事	務		出	スケットボール部男子・女子	第105回全尾張高等学校野球	
小	田	前	田	国	国			長野県木曽町	選手権大会決勝大会	
奥	谷	吉	川	岡	岡	事務長		7月28日～7月31日	第3位	
高	典	和	篤	伊	伊	頭長		卓球部男子・女子		
博	恵	茂	司	藤	山	堀		長野県王滝村		
(一	(新	(杏	(新	家	田	七		ラグビー部		
富	川	南	川	修	田	甫		岐阜県飛騨市		
養	高	高	高	宏	家	(退職)		ソフトテニス部男子		
校)	(江	(南	(高	和	堀	忠資		岐阜県郡上市		
	南	高	校)	定	一	(退職)		8月1日～8月3日		
	高	校)		亮	亮	(二宮高校)		8月4日～8月7日		
				修	修	(杏和高校)		8月5日～8月7日		
				(五	(五	(小牧南高校)		8月4日～8月6日		
				条	条	高		サッカーチーム		
				高	高	校)		岐阜県富山町		
				高	高			岐阜県下呂市		
				高	高			7月29日～8月1日		

同窓会年鑑幹事

第四十二回生
常任幹事 長嶺知慶

北 海 道	大	1	京 都	大	5	中 央	大	4
筑 波	大	3	大 阪	大	1	東 京	理 科	大
東 京	大	1	奈 良 女 子	大	3	愛 知	大	59
金 沢	大	7	広 島	大	1	南 山	大	156
福 井	大	5	静 岡 県 立	大	2	愛 知 淑 德	大	122
名 古 屋	大	41	岐 阜 県 立 看 护 大	2	金 城 学 院	大		83
愛 知 教 育	大	41	愛 知 県 立 大	12	相 山 女 学 園	大		63
名 古 屋 工 業	大	30	名 古 屋 市 立 大	17	名 城	大		34
豊 橋 技 術 科 学	大	1	滋 賀 県 立 大	5	同 志 社	大		14
岐 阜	大	19	国 公 立 大 合 計	238	立 命 館	大		17
三 重	大	23	慶 應 義 墓	大	3	関 西	大	4
滋 賀	大	12	早 稲 田	大	5	関 西 学 院	大	6

大學合格者數一覽

(平成二十一年度入試)

◇転入
教頭長
笠井紀世史（犬山高校）
祖父江泰浩
（総務部県史編さん室）
事務長
平野一樹（杏和高校）
英語学
後藤鈴木（一富道高校）
英語学
小島尚己（海翔高校）
数学
河合公久（中村高校）
数学
小室正昌（新川高校）
国数
竹倉裕子（尾北高校）
（新任）